ワイヤレスルータ
セットアップ・マニュアル



NETGEAR

NETGEAR, Inc.
4500 Great America Parkway
Santa Clara, CA 95054 USA

2008 年 1 月
208-10208-01
v1.0

商標

NETGEAR および NETGEAR ロゴは登録商標です。RangeMax および Smart Wizard は NETGEAR 社の商標です。Microsoft、Windows、Windows NT は Microsoft 社の登録商標です。その他のブランドや商品名は、各所有者に帰属する商標または登録商標です。

条件の明示

製品の内部設計、操作機能、安定性などを改善するため、NETGEAR は予告なく本書に記載された製品に変更を加える権利を有するものとします。

NETGEAR は本製品やここに紹介する回路配置などの使用または適用により派生する事柄について、一切の責任を追いかねます。

目次

ワイヤレスルータの概要

NETGEAR® RangeMax™ デュアル • バンドワイヤレス -N ルータ WNDR3300 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ルータをインストールする前に、まずパッケージ内容をご確認ください (「ワイヤレスルータをパッケージから取り出す」を参照)。ルータの前面および背面の構造をよくご確認ください。特にステータスランプやルータに貼付されたラベルの情報は重要です (8 ページの「底面ラベル」を参照)。

ワイヤレスルータをパッケージから取り出す

本製品のパッケージには次のアイテムが含まれます。

- ワイヤレスルータ本体
- ワイヤレスルータ専用スタンド
- AC 電源アダプタ (地域により異なります)
- 黄色いイーサネットケーブル
- *リソース CD* (以下が含まれます):
  - Smart Wizard インストールアシスタント (Autorun.exe)
  - 本マニュアルの電子版 (PDF ファイル)
  - オンライン*リファレンス・マニュアル*へのリンク
- 保証書およびサポート情報カード

万一、不足品や破損品がある場合は、NETGEAR 販売店にお問い合わせください。お買い上げ時のダンボールやパッケージは製品修理などの際に必要となりますので、保管してください。

ルータのインストール準備：

1. ルータ本体の側面に貼られている保護フィルムを慎重にはがしてください。
2. ワイヤレスルータをルータ付属の専用スタンドに取り付け、ルータの準備を整えます。



図 1

3. ルータを安定した場所に置きます (AC 電源の近くで､有線コンピュータのイーサネットケーブルに接続しやすい場所を推奨)。

ルータ前面

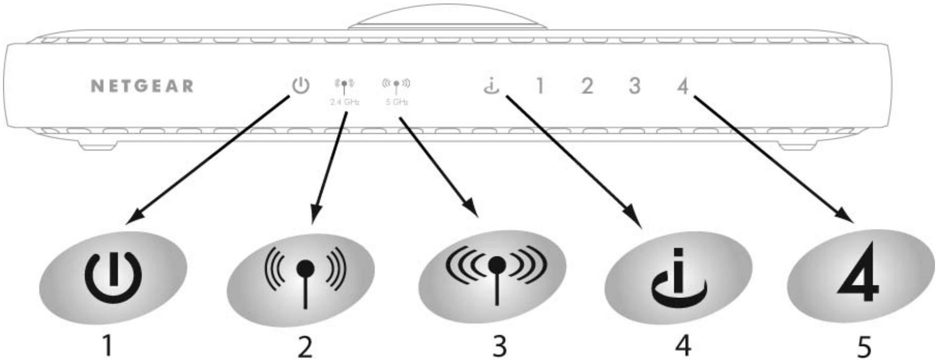


図 2

ワイヤレスルータ前面のステータスランプで本機の状態を把握できます。

表 1. ステータスランプの説明

No.	機能	色と点滅状態	説明
1	電源	緑色に点灯	ルータの電源が入っています。
		点滅	本機は起動中です。または、工場出荷時の初期設定にリセットするため、リセットボタンが押されました。
		オフ	ルータの電源が入っていません。
2	2.4 GHz モード	黄色に点灯[a]	本機はレガシー G モード 2.4 GHz で稼動しています。 (5 GHz モード［No. **3**］も点灯します)。
		緑色に点灯[b]	本機は 11n モード 2.4 GHz で稼動しています。 (5 GHz モード［No. **3**］オフ)。
		点滅	ワイヤレスネットワーク経由でデータ通信が行われています。
3	5 GHz モード	青に点灯[c]	本機は 11n モード 5 GHz で稼動しています。 (2.4 GHz モード［No. **2**］も黄色に点灯します)。
		オフ	11n モード 5 GHz はオフ (2.4 GHz モード［No. **2**］も緑色に点灯します)。
		点滅	ワイヤレスネットワーク経由でデータ通信が行われています。

表 1.　　ステータスランプの説明 (続き)

No.	機能	色と点滅状態	説明
4	インターネット	黄色オフ	モデムにイーサネットケーブルが接続されていません。
		黄色に点灯	モデムにはイーサネットケーブルが接続されています。
		黄色に点滅	モデムまたはその他のネットワークデバイスとの間でパケットの送受信が行われていますが、IP アドレスは受信していません。
		緑オフ	IP アドレスを受信していません。
		オン	IP アドレスを受信しました。
		点滅	IP アドレスを受信すると、データの送受信が行われます。
5	LAN	緑	LAN ポートは接続デバイスに 100 Mbps リンクを検出しました。
		黄色	LAN ポートは接続デバイスに 10 Mbps リンクを検出しました。

a. 黄色 (初期設定) は 5 GHz 妨害なしのワイヤレス -N、およびレガシー 2.4 GHz 802.11 g ネットワークを意味します。デュアル • バンドクライアント (デュアル • バンドワイヤレス -N ラップトップ、デュアル • バンドワイヤレス -N アダプタ) や 802.11 b/g ラップトップを使って接続する場合、NETGEAR はこちらを推奨します。

b. 緑色に点灯する場合、2.4 GHx ワイヤレス -N ネットワークを意味します。2.4 GHz ワイヤレス -N クライアント (ほとんどのアダプタはデュアル・バンドとして指定されない限り、2.4 GHz です) または 802.11 b/g ラップトップを使って接続する場合、NETGEAR はこちらを推奨します。

c. 青の点灯は、5 GHz 妨害なしネットワークを意味します。

モードに関する詳細は、21 ページの「障害があるためにモードを変更する際の手順」、または*リソース CD のリファレンス・マニュアル*をご覧ください。

ルータリアパネル

WNDR3300 ルータのリアパネルには、次の一覧のような機能が搭載されています。

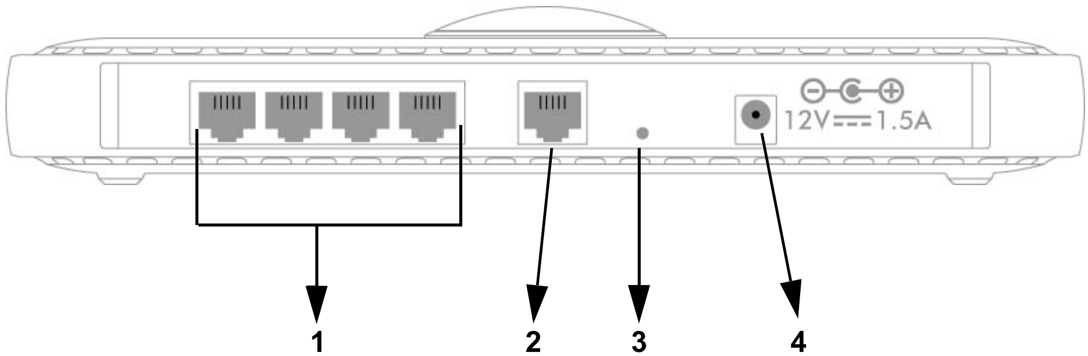


図 3

ワイヤレスルータのバックパネルに含まれる機能 :

1. ルータとローカルコンピュータ接続用の 4 つのローカル (LAN) 10/100 Mbps イーサネットポート
2. ルータとケーブル /DSL モデム接続用のインターネット (WAN) イーサネットポート
3. 工場出荷時の初期設定に戻すためのリセットボタン
4. AC 電源アダプタジャック

上面



図 4

ワイヤレスルータの上面には 2 つの機能性を持つドーム型があります。

1. アンテナのディスプレイランプ。このランプは内蔵された 8 つのアンテナの動作状況を知らせます。点滅の組み合わせで、どのアンテナが一番強い信号を受信しているかが分かります。これらのステータスランプは初期設定ではオフになっていますが、オンにすることができます。

   アンテナディスプレイランプのオン / オフは以下の手順で切り替えます。

   a. ドームを短く押し (2 秒以内)、手を放します。ランプがオフになっている場合は、オンになります。

   b. ドームを短く押し (2 秒以内)、手を放します。ランプがオンになっている場合は、オフになります。

2. **Wi-Fi Protected Access (WPA)**。このドームは、WPS 対応デバイスにおいて WPS セキュリティを有効にするためのプッシュボタンとしても働きます。ドームを 5 秒以上長押しすると 2 分間ウィンドウが表示され、他の WPS 対応デバイスと接続します。

> これら WiFi Protected Setup (WPS) プッシュボタンを使う前に、ご利用のデバイス (ノートパソコン、アダプタ、その他のデバイスなど) が WPS に対応しているかどうか確認してください。他の WPS 対応デバイスをお持ちでない場合、セキュリティが無効になったときに 2 分間ウィンドウを表示する必要はなく、また WPS のルータセキュリティを設定する必要もありません。

WPS を使って他のデバイスを接続するには、以下の手順で行います。

a. WiFi Protected Setup (WPS) 対応のデバイスのネットワーク ・ユーティリティを開き、ユーティリティの指示に従ってステップ b へ進みます。

b. ワイヤレスルータのドームを短く押し (5 秒以内)、手を放します。ドームランプが点滅を始めます。

> ルータが WPS 対応モードにある場合 (最長 2 分間)、ワイヤレスセキュリティは無効となります。室内では、数十メートル～数百メートルの範囲内でワイヤレスネットワークを利用することができます。有線ネットワークのデータと異なり、ワイヤレスデータ通信は壁を越えることができ、互換性のあるアダプタをお持ちであれば信号を受信することができます。このため、多少離れている場所からもネットワークにアクセスすることができます。セキュリティに関する詳細は、*リソース CD* のリンク、またはルータのメインメニューのリンクから*リファレンス・マニュアル*を参照してください。

c. ドームランプが点滅している間、2分間以内にルータに接続しようとしているデバイスいの WPS を有効にしてください。以下のいずれかの状態になると、ランプの点滅が消えます。

- ルータと、ルータに接続しようとしているデバイスの間で WPS が有効になったとき。
- WPS 接続を確率するための 2 分間ウィンドウが時間切れになったとき。接続が確立したかどうかにかかわらず、ルータセキュリティと SSID (service set identification key) は WPS 用に設定されます。

ランプはオフになるか、またはアンテナディスプレイに戻ります。これはユーザーの設定により異なります。

d. WPS を有効にした後、WPS 機能を持たないデバイスを接続しようとする場合、まずルータにログインし、セキュリティキーを取得する必要があります。その他の詳細は、17 ページの「新しいファームウェアのインストールと確認後にワイヤレスルータにアクセスする」および*リソース CD* の*リファレンス・マニュアル*をご覧ください。

e. WPS を無効にしたい場合は、ルータを工場出荷時の初期設定にリセットする必要があります。初期設定へのリセット方法は36 ページの「初期設定のパスワードとリセット」を参照してください。

底面ラベル

ワイヤレスルータ底部のラベルで、シリアルナンバー、ポートコネクタ、ステータスランプ、初期設定のログオン情報などを確認してください。

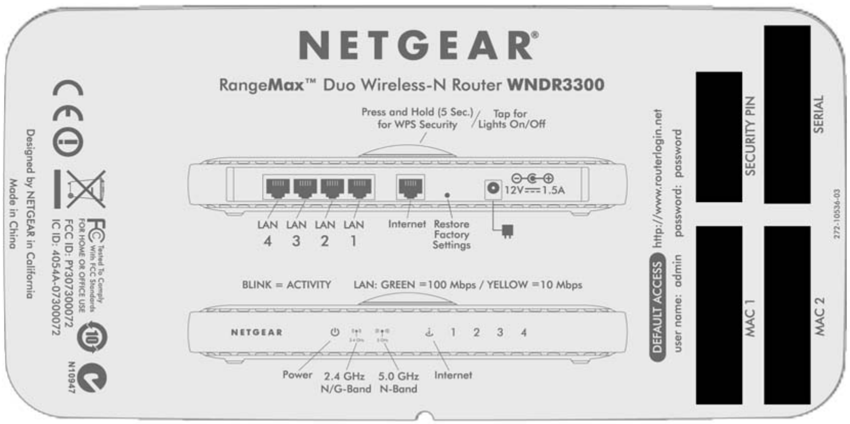


図 5

始める前に

ルータを設定する前に、以下を準備します。

- インターネット接続サービス。
- インターネット • サービス • プロバイダ (ISP) が配布する設定情報。インターネットアカウントがどのように設定されているかにより、1 つ、または複数の設定を使ってワイヤレスルータのインターネット接続を有効にする必要があります。
  - ホストとドメイン名
  - インターネットへのログイン名とパスワード (メールアドレスとパスワードの場合が多い)
  - ドメインネームサーバ (DNS) アドレス
  - 固定または静的 IP アドレス

  プロバイダは、インターネットに接続するために必要なすべての状況を提供します。情報を確認できない場合は、プロバイダにお問い合わせください。
- ケーブルモデムサービスをご利用の場合は、インターネットサービスを設定する際に使用したコンピュータを使用してください。

ルータファームウェアの更新

NETGEAR は常にルータの操作性および機能性を改善しています。NETGEAR は皆様にご利用いただいているルータを常に最善の状態にしておくために、製品の更新に関する様々な方法を提供しています。

- Smart Wizard インストール • アシスタントは、セットアップの一環として更新情報のチェックとインストールを行います。
- ルータには更新機能が搭載されており、更新情報があるかどうかをチェックし、あればインストールします。この機能をご利用になるには、ルータにログインしておく必要があります。

これらのオプションは 17 ページの「新しいファームウェアのインストールと確認後にワイヤレスルータにアクセスする」で説明しています。

2 つのセットアップ方法 : Smart Wizard セットアップまたは手動セットアップ

ワイヤレスルータを設定するには 2 つの方法があります。

- **Smart Wizard によるセットアップ** : このオプションが最も簡単です。ウィザードがセットアッププロセスを誘導してくれますので、多くのステップが自動的に行われ、必要条件が存在するかどうかを検証し、設定を完了してくれます。このオプションを実行するには、Microsoft Windows が必要です。
- **手動セットアップ** : このオプションは、CD のウィザードが使用できない場合、既存のワイヤレスルータを置き換える場合、または技術的な知識がある場合に使用してください。ワイヤレスルータの手動セットアップについては、指示に従ってください。

  ご利用目的に適したセットアップオプションを使用してください。

Smart Wizard セットアップ

ウィザードによるセットアップは、完了までに約 20 分間かかります。

1. NETGEAR CD を Windows PC にセットしてください。CD は自動的に起動し、PC で使われている言語を検出します。検出された言語オプションを使用するか、または別の言語に変更することができます。

> CD が自動的に起動しない場合は、CD を参照し、Autorun をダブルクリックします。大文字の "A" で始まる Autorun ファイルをダブルクリックしてください。

2. 初期画面が表示されたら、[セットアップ] をクリックしてスマートウィザードを開始します。ウィザードの指示に従ってセットアップを行ってください。
3. ログインするよう指示されたら、本機底部のラベルに記載された初期ログイン情報を参照してください。または、「ワイヤレスルータの接続」の手順を参照してください。

手動セットアップ

ワイヤレスルータを設定するには以下の 2 つのステップがあります。

1. ルータをADSLまたはケーブルモデムと接続し、コンピュータとルータを接続します。

> ご利用のコンピュータは、DHCP を通してルータから自動的に TCP/IP ネットワーク設定を取得できるよう設定されている必要があります。これが一般的な方法ですが、不明確な場合は、CD のウィザードを使って自動的に設定を行うか、コンピュータの説明書を参照してください。

2. インターネットサービスを使用するため、ルータを設定します。

ワイヤレスルータの接続

ワイヤレスルータの接続手順

1. ワイヤレスルータ、コンピュータ、モデムを接続します。
   a. コンピュータの電源を切ります。
   b. ケーブルまたは ADSL ブロードバンドモデムの電源を切り、取り外します。
   c. コンピュータとモデムをつないでいるイーサネットケーブル **(1)** を確認します。

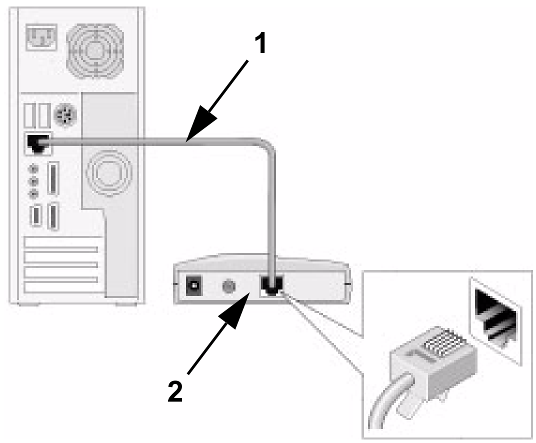


図 6

   d. モデム側のケーブルのみ **(2)** を取り外します。後からこれをルータに接続します。
   e. ワイヤレスルータ底部のラベルで、インターネットポートを確認します。ポートは電源接続の左隣です。

f. NETGEAR 製品付属のイーサネットケーブルを確認します。イーサネットケーブルをモデムとワイヤレスルータのインターネットポートに接続します **(3)**。

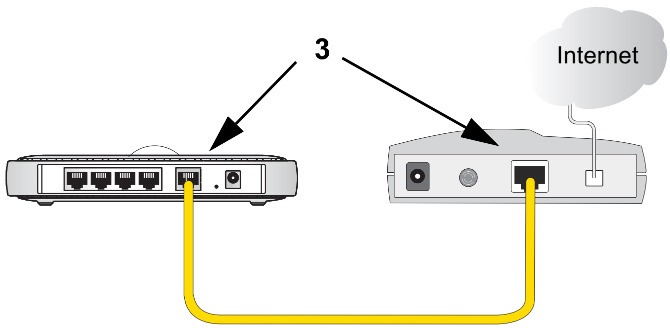


図 7

g. ステップ 1c でモデムから取り外したケーブルを確認します。このケーブル **(4)** をルータの LAN ポート (LAN ポート 1 など) に接続します。

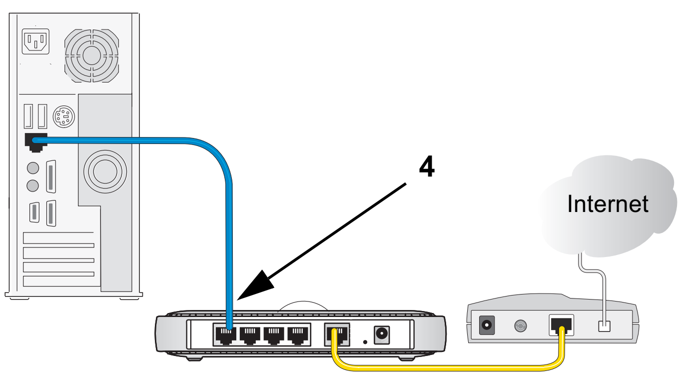


図 8

ネットワークケーブルの接続が完了し、ネットワークを起動する準備ができました。

2. 正しい順序でネットワークを起動してください。

⚠	ネットワークを間違った順序で起動すると、インターネットへアクセスできない場合があります。

a. まずケーブルモデムまたは DSL モデムの電源を差し込み、電源を入れてください。2 分間待ちます。

b. 次に、ワイヤレスルータの電源コードをコンセントに差し込みます。1 分間待ちます。

c. 最後に、コンピュータを起動します。

➡	DSL ユーザーの場合、ソフトウェアでインターネットにログインした後は、このソフトウェアを*起動しないでください*。Internet Explorer のツールメニューに進み、インターネットオプションを選択し、［接続］タブをクリックします。ここで［ダイヤルしない］を選択します。

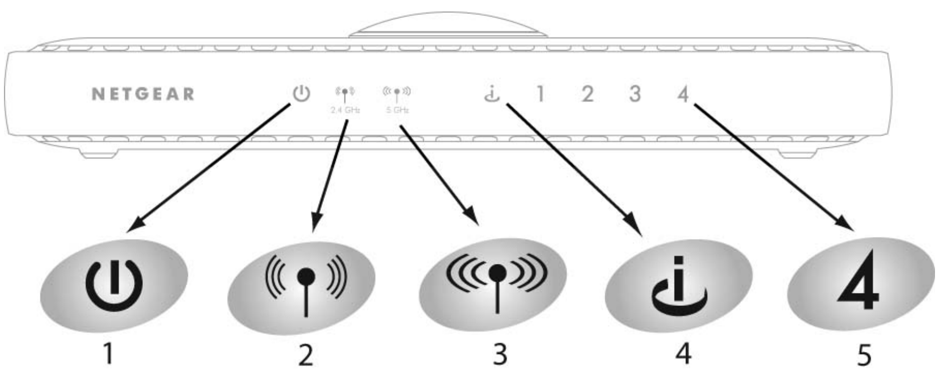


図 9

d. ワイヤレスルータのステータスランプをチェックし、以下を確認します。

- **電源** : 電源ランプ (1) は緑色に点灯します。ランプが消えない場合は、24 ページの「基本機能の不調」をご覧ください。
- **モード** : モードランプ (2) はオンの状態となります。モードランプ (3) はオフの状態となります。

- **インターネット**。インターネットポート **(4)** は点灯した状態となります。点灯していない場合は、イーサネットケーブルがしっかりとワイヤレスルータのインターネットポートとモデムに接続されており、且つモデムの電源が入っていることを確認してください。
- **LAN**。LAN ランプ **(5)** は点灯している状態となります。緑色は、コンピュータが 100Mbps で通信していることを意味し、黄色はコンピュータが 10 Mbps で通信していることを意味します。LAN ランプが点灯していない場合は、コンピュータからルータへのイーサネットケーブルがしっかりと接続されており、コンピュータの電源が入っていることを確認してください。

3. ブラウザのアドレス欄に **http://www.routerlogin.net** と入力し、<ENTER> をクリックしてワイヤレスルータに接続します。



図 10



次の 3 つのうち、いずれかのアドレスをブラウザのアドレス欄に入力し、<ENTER> をクリックしてワイヤレスルータに接続します。

- *http://www.routerlogin.net*
- *http://www.routerlogin.com*
- *http://192.168.1.1*

下図のようなログインウィンドウが開きます。

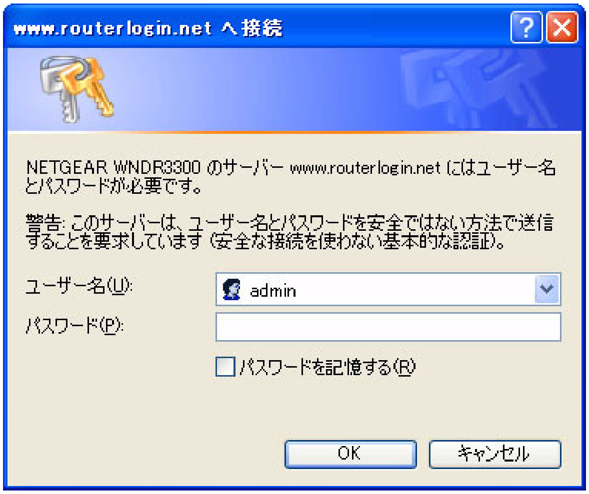


図 11

4. セキュリティを考慮し、ルータには独自のユーザ名とパスワードがあります。画面で指示されたら、ユーザー名に **admin**、パスワード欄に **password** と入力します。いずれも小文字で入力してください。

➡	ルータのユーザー名とパスワードはインターネット接続にログインするの際に使用するユーザ名やパスワードとは異なります。

ログインした後、ファームウェアの更新に関するメッセージが表示されたら、［ウィンドウを閉じる］をクリックしてください。

左で［セットアップウィザード］をクリックすると、次のような画面が表示されます。



図 12

ワイヤレスルータに接続できない場合は、コンピュータのネットワーク設定を確認してください。通常は、IP と DNS サーバアドレスの*両方*を自動的に取得するよう設定します。これに関する詳細は、コンピュータの説明書を参照するか、または 35 ページの「関連ドキュメント」のリンクを参照してください。

5. ［次へ］をクリックしてください。このウィザードは、ワイヤレスルータからインターネットへアクセスするための設定方法をガイドします。

   上級ユーザーの場合は、ルータを手動で設定することもできます。［いいえ］のラジオボタンを選択し、指示に従ってユーザー名とパスワードの部分で **admin** と **password** を入力します。そして、基本設定画面で必要な情報を入力してください (基本設定に関する詳細は*リソース CD* に含まれる*リファレンス・マニュアル*を参照)。

6. ［完了］をクリックして終了します。

インターネットに接続できました。ワイヤレスルータはホームページを表示します。

［ログアウト］をクリックしないまま、何も操作せずに 5 分間が経過すると、ワイヤレスルータ は自動的にユーザをログアウトします。

製品登録、サポート、ドキュメント

お買い上げの製品を、*http://www.netgear.jp/registry/* から登録してください。NETGEAR の電話によるサポートサービスをご利用になる前に、製品登録を行う必要があります。製品に関するアップデートと Web サポートは *http://www.netgear.jp/supportInfo/* からご利用ください。

説明書は CD、サポート Web サイト、ドキュメント Web サイトから取得できます。ワイヤレスルータがインターネットに接続されている場合は、Web サポートメニューの［ナレッジベース］または［ドキュメント］リンクをクリックし、ワイヤレスルータに関する情報やドキュメントを取得することができます。

新しいファームウェアのインストールと確認後にワイヤレスルータにアクセスする

Smart Wizard は初めてルータをインストールしたとき、またはルータが工場出荷時の初期設定にあるときにのみ表示されます (ルータを工場出荷時の状態にリセットした場合など)。ルータをインストールし、設定した後に Smart Wizard を使用したい場合は、ブラウザウィンドウを開き、ルータにログインする必要があります。

> リセットボタンを押すと、出荷時の初期設定に戻すことができます。この機能については、36 ページの「初期設定のパスワードとリセット」をご覧ください。

ログイン名とパスワードを使ってルータにアクセスするには、次の指示に従ってください。

1. ブラウザのアドレス欄に **http://www.routerlogin.net** と入力し、<ENTER> をクリックしてワイヤレスルータに接続します。



図 13

> 次の 3 つのうち、いずれかのアドレスをブラウザのアドレス欄に入力し、<ENTER> をクリックしてワイヤレスルータに接続します。
> - *http://www.routerlogin.net*
> - *http://www.routerlogin.com*
> - *http://192.168.1.1*

2. セキュリティを考慮し、ルータには独自のユーザ名とパスワードがあります。画面で指示されたら、ユーザー名に **admin**、パスワード欄に **password** と入力します。いずれも小文字で入力してください。

> ルータのユーザー名とパスワードはインターネット接続にログインするの際に使用するユーザ名やパスワードとは異なります。

下図のようなログインウィンドウが開きます。

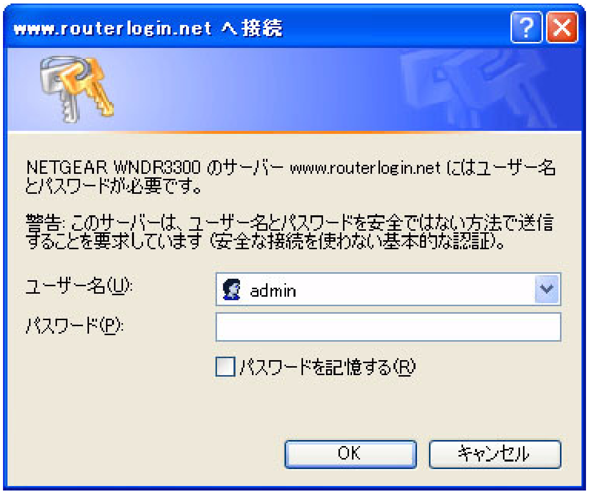


図 14

ユーザ名とパスワードを入力します。

ルータファームウェアの更新手順

1. ルータ更新画面が自動的に表示されない場合は、メインメニューのメンテナンスで［ルータ更新］を選択します。ルータ更新画面が表示されます。
2. ［参照］をクリックし、PC にダウンロードした解凍した済みのファームウェア画像を確認します (ファイルの拡張子は .chk です)。
3. ファイルを選択したら、［アップロード］をクリックし、ソフトウェアをルータに送信します。アップロードには数分かかります。ソフトウェアのアップロードが完了したら、ルータを再起動します。

> オンラインになったり、ルータの電源を切ったり、コンピュータの電源を落としたりしないでください。また、ルータが再度点滅を始めるまで、何も操作をしないでください。電源ランプが点滅を終えた後、ルータを使い始めるまで数分お待ちください。

4. ルータを再起動した後、メインメニューのメンテナンスで［ルータステータス］を選択します。ルータに新しいソフトウェアがインストールされているかどうか、ファームウェアバージョンを確認します。

この方法で正常にアップグレードできなかった場合は、ルータのメインメニューにある［ドキュメンテーション］リンクか、または*リソース CD* のリンクからオンライン*リファレンス • マニュアル*を参照し、ルータ更新の別の方法をお試しください。

インストール中に［いいえ］のラジオボタンを選択し、後から新しいファームウェアをチェックしたい場合は、NETGEAR Web サイトで更新情報を確認する前に、現在のルータで実行中のファームウェアバージョンを確認してください。次に NETGEAR Web サイトにアクセスし、このルータのモデル番号を選択します。ファームウェアの最新版がご利用になれる場合は、ファームウェアをコンピュータにアップロードし、ルータを更新します。

新しいルータファームウェアを手動でチェックする方法

1. ブラウザウィンドウを開き、ブラウザのアドレスバーに **http://www.routerlogin.net** と入力します。<ENTER> を押します。
2. 画面で指示されたら、初期設定のユーザー名とパスワードを入力します (ルータのユーザー名には **admin**、パスワードには **password** と入力)。いずれも小文字で入力してください。ユーザー名とパスワードを自分で変更した場合は、変更後のユーザー名とパスワードを入力します。
3. ルータのメインメニューのメンテナンスで、［ルータステータス］を選択します。ルータステータス画面が表示されたら、ご利用中のルータのファームウェアバージョン番号を確認してください。
4. Web サイト *http://www.netgear.jp/supportInfo/* にアクセスし、メニューバーから［ダウンロード］を選択します。
5. ［製品選択］のドロップダウンリストからルータモデル番号を選択します。ルータの製品サポートページが表示されます。
6. ダウンロードのページで、ルータステータス画面で表示されたファームウェアバージョンに対し、現在最新のバージョンをチェックします。
7. NETGEAR Web サイトのバージョンが現在ご利用のものよりも新しい場合は、バージョン番号をクリックし、［右クリックし対象をファイルに保存］をクリックし、ファイルをハードディスクに保存します。
8. 18 ページの「ルータファームウェアの更新手順」の手順に従い、更新手順を完了します。

基本的なワイヤレス接続のセットアップとテスト

以下の手順で基本的なワイヤレス接続をセットアップおよびテストするか、または操作モードに切り替えます。基本的なワイヤレス接続が確立できたら、セキュリティ設定をニーズに合わせて設定しましょう。

基本的なワイヤレス接続のセットアップおよびテスト方法

1. 初期設定の LAN アドレス **http://192.168.1.1** から、初期設定のユーザ名 **admin** とパスワード **password** を使ってワイヤレスルータにログインしてください。または、任意の LAN アドレスと自分で設定したパスワードをご利用になることもできます。
2. メインメニューのセットアップで［ワイヤレス設定］を選択します。
3. 初期設定の SSID (service set identification key) は NETGEAR です。

> ワイヤレスアダプタの SSID は、ワイヤレスルータで構成する SSID と一致しなければなりません。SSID が一致しない場合、ワイヤレス接続は確立されません。

4. ワイヤレスインターフェースからご使用の地域を選択してください。
5. 変更を保存するには、［適用］をクリックします。

> ワイヤレスコンピュータからルータを構成しており、ルータの SSID、チャンネル、またはセキュリティ設定を変更する場合、［適用］をクリックすると同時にデバイスの接続が中断されます。お使いのコンピュータのワイヤレス設定を新しいルータの設定に合わせてから再接続してください。

6. コンピュータのワイヤレス接続を設定し、テストしてください。

   コンピュータのワイヤレスアダプタをプログラムし、ワイヤレスルータと同じワイヤレスネットワーク名 (SSID) を持つよう設定してください。これらにワイヤレスリンクが確立され、ルータから DHCP を通して IP を取得できることを確認します。

障害があるためにモードを変更する際の手順

別のルータなど、近くの機器から障害が生じることがあります。初期設定では、WNDR3300 ルータは **Up to 270Mbps @ 5GHz & 54Mbps @ 2.4GHz** というように設定されており、この設定はほとんどの状況で最適です。WNDR3300 ルータには 4 種類のワイヤレスモードの組み合わせがあります。以下の手順で別のモードに切り替え、ワイヤレス通信が改善されるかどうか試してください。

1. 初期設定の LAN アドレス **http://192.168.1.1** から、初期設定のユーザ名 **admin** とパスワード **password** を使ってワイヤレスルータにログインしてください。または、任意の LAN アドレスと自分で設定したパスワードをご利用になることもできます。
2. メインメニューのセットアップで［ワイヤレス設定］を選択します。
3. ワイヤレスモードを選択します。
   - 最大 270Mbps @ 5GHz & 54Mbps @ 2.4GHz (初期設定)
   - 最大 270Mbps @ 2.4GHz
   - 最大 130Mbps @ 2.4GHz
   - 最大 130Mbps @ 5GHz & 54Mbps @ 2.4GHz
4. 変更を保存するには、［適用］をクリックします。

適切なワイヤレスセキュリティの実施

> 室内では、コンピュータは 90 m 以上の範囲内で 802.11 g ワイヤレスネットワークを確立することができます。この許容距離は、自分たちのネットワーク外の部外者が簡単にネットワークにアクセスできる範囲でもあります。

有線ネットワークと異なり、ワイヤレスなデータ通信は壁を越えて互換性のあるアダプタを持つ全ての人に受信されることになります。このため、ワイヤレス装置にはセキュリティ機能が必須アイテムとなっています。ワイヤレスルータは非常に効果的なセキュリティ機能を搭載しています。これについては、*リソース CD* のリンク、またはルータのメインメニューのリンクから*リファレンス・マニュアル*を参照してください。このマニュアルまたはルータのヘルプ画面の指示に従い、必要に応じたセキュリティ機能を導入してください。

> ワイヤレスセキュリティに関するその他の詳細は、7 ページの「WPS を使って他のデバイスを接続するには、以下の手順で行います。」および*リソース CD* のオンライン*リファレンス・マニュアル*を参照してください。

トラブルシューティングのヘルプ

この章では、お使いのワイヤレスルータに関するトラブル解決の方法をご紹介しています。以下のトラブルに関するヘルプをご覧いただけます。

基本のトラブルシューティング

よくあるマイナートラブルの解決方法を以下で説明しています。

よくあるトラブル

以下の問題点がないかどうか確認してください。

ネットワークは必ず次の手順で起動してください。

1. モデムの電源を消してコンセントから取り外し、ワイヤレスルータとコンピュータの電源を切ります。
2. モデムの電源を入れ、2 分間待ちます。
3. ワイヤレスルータの電源を入れ、1 分間待ちます。
4. コンピュータの電源を入れます。

イーサネットケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認します。

1. モデムからワイヤレスルータへのイーサネットケーブルがしっかりと接続されており、モデムとワイヤレスルータの両方の電源が入っていることが確認できたら、ワイヤレスルータのインターネットステータスランプが点灯しているかどうか確認してください (3 ページの「ルータ前面」を参照)。
2. イーサネットケーブルでワイヤレスルータに接続されている、電源の入った各コンピュータについて、対応するワイヤレスルータ LAN ポートのステータスランプが点灯していることを確認してください (3 ページの「ルータ前面」を参照)。ワイヤレスルータ底部のラベルは各 LAN ポートの番号を示しています (8 ページの「底面ラベル」を参照)。

コンピュータのネットワーク設定が正しいかどうか確認してください。

1. LAN に接続されたコンピュータが、DHCP を通して自動的に IP アドレスを取得するよう構成されているかどうか確認してください。この構成については、コンピュータの取扱説明書、または 35 ページの「関連ドキュメント」*を参照**してください。*
2. MAC アドレスが必要かどうかを確認します。一部のケーブルモデムサービスでは、ご利用のコンピュータの MAC アドレスを使ってアカウント登録を行うよう限定している場合があります。この場合は、基本設定画面のルータ MAC アドレス部分で［このコンピュータの MAC アドレスを使用する］を選択します。設定を保存するには、［適用］をクリックします。正しい順序でネットワークを再起動してください。

ルータが正しく作動しているかどうか、ルータステータスランプを確認します。

ルータの電源を入れた後、2 分以内に電源ランプが緑色に点灯しない場合、36 ページの「初期設定のパスワードとリセット」の指示にしたがってルータをリセットしてください。

基本機能の不調

ルータの電源を入れたら、ステータスランプをチェックしてください。

1. 電源を入れた後、電源ランプが点滅し、緑色に点灯するかどうかを確認してください。
   a. 電源コードがルータに正しく接続されており、また給電用アダプタがしっかりとコンセントに接続されているかどうかを確認してください。
   b. 本製品専用の NETGEAR 電源アダプタをご利用かどうか確認してください。

   トラブルが継続する場合は、ハードウェアに問題がある可能性があります。テクニカルサポートにお問い合わせください。

2. 20 秒後、以下を確認してください。
   a. 適切なモードランプが点灯していますか? (初期設定では 2.4 GHz モードが点灯します。)
   b. インターネットポートが接続されており、ランプが点灯していますか ?
   c. 接続済みのローカルポートについて、LAN ポートランプが点灯していますか ?

   ポートのランプが点灯したら、接続デバイスへのリンクが確立されたことを意味します。LAN ポートが 100 Mbps デバイスに接続されている場合、ポートのランプが緑色に点灯しているかどうかを確認してください。ポートが 10 Mbps の場合、ランプは黄色に点灯します。

> ステータスランプに関する詳細は、3 ページの「ルータ前面」を参照してください。

イーサネット接続が確立しているものの、LAN またはインターネットポートのランプがオンになっていない場合

1. イーサネットケーブル接続がルータ側とコンピュータ側でしっかりと確立されているかどうかを確認してください。
2. 接続されたコンピュータの電源が入っているかどうかを確認してください。
3. ワイヤレスルータ付属のケーブルに類似したイーサネットケーブルを使用していることを確認してください。

ワイヤレスルータにログオンできません

ワイヤレスルータにログインできない場合は、以下を点検してください。

- イーサネットに接続されたコンピュータを使用している場合は、コンピュータとルータ間の接続が前のセクションで説明された通りに確立されているかどうかを確認してください。
- 正しいログイン情報を使用していることを確認してください。工場出荷時の初期設定のログイン名は **admin**、パスワードは **password** です。キーボード入力の際は Caps Lock がオフになっていることも確認してください。

- お使いのコンピュータのアドレスは、255.255.255.0.2 ～ 255.255.255.0.254 の間である必要があります。コンピュータの IP アドレスを判断するには、コンピュータの説明書を参照してください。

➡	お使いのコンピュータの IP アドレスが 169.254.x.x となっている場合、コンピュータとルータの間に良好な接続が確立されていることを確認し、コンピュータを再起動してください。

- ブラウザが Java、JavaScript、ActiveX に対応していることを確認してください。Internet Explorer をお使いの場合は、［更新］をクリックして Java アプレットを読み込んでください。ブラウザを終了してから再度立ち上げてください。

インターネットサービスに接続できません

ルータがインターネットにアクセスできない場合、インターネット接続が作動しているかどうかを確認し、ワイヤレスルータがインターネットアドレスを取得できているかどうかを確認します。

インターネットに接続されているかどうかを確認します。

1. **インターネット接続**。まず、ケーブルまたは ADSL モデムが正常に接続されているかどうかを確認します。ケーブルまたは ADSL モデムのステータスランプが、接続が確立されているかどうかを示します。モデム接続の確認方法については、モデムの説明書を参照するか、またはプロバイダにお問い合わせください。
2. **ワイヤレスルータのインターネットランプが緑に点灯または点滅**。インターネットランプが緑に点灯または点滅している場合、インターネット接続が良好であり、配線が正しいことを意味します。
3. **ワイヤレスルータのインターネットランプが黄色に点滅**。インターネットランプが黄色に点滅している場合、ワイヤレスルータはサービスプロバイダとの間でインターネット接続を確立しようとしていることを意味します。ランプは数分で緑色に変わるはずです°緑色に変わらない場合は、モデムのインターネット接続を点検してください。
4. **ワイヤレスルータのインターネットランプがオフ**。インターネットランプが消えている場合、ケーブルと ADSL モデムの間でイーサネットケーブルがしっかりと接続され、モデムとワイヤレスルータの電源が入っていることを確認してください。

インターネット IP アドレスの取得

お使いのワイヤレスルータがインターネットにアクセスできず、インターネットランプが黄色く点灯または点滅する場合、ワイヤレスルータがサービスプロバイダからインターネット IP アドレスを取得できているかどうかを検証する必要があります。静的 IP アドレスがある場合を除き、ワイヤレスルータはサービスプロバイダから自動的に IP アドレスを要求します。

ブラウザインターフェースからインターネット IP アドレスを確認する方法

1. ワイヤレスルータにログインします。
2. メインメニューのメンテナンスで［ルータステータス］を選択し、インターネットポートに対する IP アドレスが表示されているかどうかを確認します。0.0.0.0 と表示された場合、ワイヤレスルータはプロバイダから IP アドレスを取得していないことになります。

ルータがプロバイダから IP を取得できない場合、以下のいずれかの問題が考えられます。

- プロバイダがログインを必要としている可能性があります。プロバイダに、PPP over Ethernet (PPPoE) ログインが必要かどうか、問い合わせてください。
- サービス名、ユーザー名、パスワードが間違っている可能性があります。「PPPoE のトラブルシューティング」を参照してください。
- サービスプロバイダがコンピュータのホスト名をチェックしている可能性があります。
  基本設定画面でワイヤレスルータにプロバイダアカウントのコンピュータホスト名を割り当ててください。
- ご利用のサービスプロバイダがイーサネット MAC アドレスのみの接続を許可しており、PC の MAC アドレスについてチェックする場合があります。この場合は、以下のいずれかを行います。
  - プロバイダに対し、あなたが新しいネットワークデバイスを購入し、ワイヤレスルータの MAC アドレスを使用したいことを伝えてください。
  - ルータが PC の MAC アドレスを真似るよう構成してください。この設定は基本設定メニューで行うことができます。オンラインヘルプを参照してください。オンラインヘルプはワイヤレスルータのメインメニューからアクセスできます。

PPPoE のトラブルシューティング

PPPoE 接続のトラブルシューティング：

1. ワイヤレスルータ にログインします。
2. メインメニューのメンテナンスで、［ルータステータス］を選択します。
3. ［接続ステータス］ボタンをクリックしてください。
4. すべてのステップで OK が確認された場合、PPPoE 接続は有効であることを意味します。
5. いずれかのステップで［Failed］と表示された場合、［接続］をクリックし、再接続を試みてください。ワイヤレスルータは引き続き接続を試みます。

   数分経過しても接続できない場合、間違ったサービス名、ユーザ名、パスワードを使用している可能性があります。または、プロバイダによる問題の可能性も考えられます。

> 手動で接続した場合を除き、ワイヤレスルータはデータがネットワークに転送されるまで PPPoE を使用して認証を行ないません。

インターネットブラウザに関するトラブルシューティング

ワイヤレスルータが IP アドレスを取得しても、コンピュータがインターネットの Web ページを読み込むことができない場合、下記を点検してください。

- お使いの PC は DNS サーバーアドレスを認識できない可能性があります。

  DNS サーバーは、インターネット名 (www アドレスなど) を数字の IP アドレスに変換するためのインターネット上のホストです。通常、ご利用のプロバイダが DNS サーバーのアドレスを 1 つか 2 つ提供しています。ワイヤレスルータ構成中に DNS アドレスを入力した場合は、コンピュータを再起動してください。また、コンピュータの説明書などの説明に従い、PC の DNS アドレスを手動で設定することもできます。

- お使いの PC では、デフォルトゲートウェイとしてワイヤレスルータが設定されていない可能性があります。

コンピュータを再起動し、ワイヤレスルータアドレス (192.168.1.1) がデフォルトゲートウェイアドレスとしてコンピュータに表示されているかどうかを確認します。

→	工場出荷時のワイヤレスルータアドレスは 192.168.1.1 です。ただし、モデムから取得するアドレスとの間に矛盾があることが発覚すると、ルータは自動的に別のアドレスを選択します。この場合、**www.routerlogin.net** を使ってルータにログインし、LAN IP アドレスを確認できます。メインメニューの詳細設定で、**LAN IP セットアップ**を選択します。LAN TCP/IP セットアップ IP アドレスは、コンピュータのデフォルトゲートウェイ IP アドレスと一致するはずです。

Ping ユーティリティを使った接続のトラブルシューティング

ほとんどのコンピュータとルータには、*ping* と呼ばれる診断ユーティリティがあり、目的のデバイスに要求を送信することができます。これを受け、相手のデバイスが回答します。Ping ユーティリティは、ネットワークの問題解決を促します。

→	このセクションでは、高度なトラブルシューティングテクニックについてご紹介します。

PC からルータへのパスをテストする

ワイヤレスルータを Ping することで、コンピュータからルータへの LAN パスが正しく設定されているかを点検することができます。

1. Windows のツールバーで、［スタート］をクリックし、［ファイル名を指定して実行］をクリックします。
2. この欄で **Ping** と入力した後、ルータのアドレスを入力します。以下の例の通りです :
   `ping www.routerlogin.net`
   または
   `ping 192.168.1.1`
3. ［**OK**］をクリックしてください。

   以下のいずれかのメッセージが表示されます。

   `Pinging 192.168.1.1 with 32 bytes of data`

このパスが有効な場合は、以下のようなメッセージが表示されます。

```
Reply from 192.168.1.1: bytes=32 time=NN ms TTL=xxx
```

このパスが無効な場合は、以下のようなメッセージが表示されます。

```
Request timed out
```

パスが正しく機能していない場合は、以下のいずれかの問題が考えられます。

- 物理接続に問題があります。
  — LAN ポートランプが点灯していることを確認してください。ランプが消えている場合、25 ページの「イーサネット接続が確立しているものの、LAN またはインターネットポートのランプがオンになっていない場合」の指示に従ってください。
  — 対応するランプがコンピュータのネットワークインターフェースカード上にあることを確認します。
- ネットワーク設定が間違っています。
  — イーサネットカードのドライバソフトウェアと TCP/IP ソフトウェアがいずれもインストールされ、PC が設定さているかどうかを確認してください。
  — お使いのルータとコンピュータの IP アドレスは正しく、両方のアドレは 255.255.255.0 で始まります。

PC からインターネットへのパスをテストする

コンピュータとワイヤレスルータとの間のパスが正しく作動していることが確認されたら、PC からインターネットへのパスをテストしましょう。Windows の［ファイル名を指定して実行］メニューで、以下のように入力してください。

```
PING -n 10 <IP address>
```

<IP address> はプロバイダの DNS サーバなどのリモートデバイス IP アドレスです。

パスが正しく機能していれば、前セクションのような返答が表示されます。返答を受信できない場合 :

- お使いの PC が初期設定ゲートウェイとしてリストされているルータの IP アドレスを設定しているかどうかチェックしてください。PC の IP 設定が DHCP により割り当てられている場合、この情報は PC のネットワーク•コントロールパネルでは見ることができません。ルータの IP アドレスが TCP/IP のデフォルトゲートウェイとして表示されているかどうか確認してください。
- PC のネットワークアドレス (ネットマスクにより指定された IP アドレス部分) がリモートデバイスのネットワーク • アドレスと異なるかどうかを確認してください。
- ご利用のプロバイダが PC にホスト名を割り当てている場合、基本設定メニューのアカウント名部分にホスト名を入力してください。

初期設定

このセクションでは、RangeMax デュアルバンドワイヤレス -N ルータ WNDR3300 の工場出荷時の初期設定と技術仕様について説明しています。

表 2. ワイヤレスルータの初期設定

特徴		初期設定
Smart Wizard		有効
ルータログイン		
	ルータ URL にログイン	http://www. routerlogin.net *または* http://www.routerlogin.com
	ログイン名（ 大文字と小文字を区別 ）は製品ラベルに印刷されています。	admin
	ログインパスワード（ 大文字と小文字を区別）は製品ラベルに印刷されています。	password
インターネット接続		
	WAN MAC アドレス	初期設定のハードウェアアドレスを使う
	MTU サイズ	1500
ローカルネットワーク		
	ルータ LAN IP アドレス（ 別名モデム IP アドレス ）は製品ラベルに印刷されています。	192.168.1.1
	ルータサブネット	255.255.255.0
	DHCP サーバー	有効
	タイムゾーン	太平洋標準時刻
	夏時間のためタイムゾーン調整	無効

表 2. ワイヤレスルータの初期設定 (続き)

特徴		**初期設定**
ファイアウォール		
	着信 (インターネットからの通信)	無効 (すべての未承諾要求を禁止)
	送信 (インターネットへの通信)	有効 (すべて)
ワイヤレス		
	ワイヤレス通信	有効
	SSID 名	NETGEAR
	セキュリティ	無効
	ブロードキャスト SSID	有効
	伝送速度	自動 [a]
	国 / 地域	アメリカ合衆国、または地域により異なる
	RF チャンネル	リージョンが選択されるまでは 6
	動作モード	• **モード 1**. 802.11n 2.4G モード • **モード 2**. 802.11n 5G + レガシー 802.11g @ 2.4G
	データ速度	最高
	出力	完全
a. IEEE 標準 802.11 規格からの最大ワイヤレス信号速度です。実際の処理能力は異なります。ネットワーク状況、環境要素（ネットワークトラフィック、建材、構造、ネットワークオーバーヘッドなど) が実際のデータ処理速度に影響します。		
ネットワーク・プロトコルと互換性		
	データとルーティング・プロトコル :	TCP/IP、RIP-1、RIP-2、DHCP PPP over Ethernet (PPPoE)
電源アダプタ		
	北米 :	入力 : 120V、60 Hz
	イギリス、オーストラリア :	入力 : 240V、50 Hz
	ヨーロッパ :	入力 : 230V、50 Hz
	日本 :	入力 : 100V、50/60 Hz
	すべての地域 (出力):	12 V DC @ 1.5A 出力、最大 18W

表 2. ワイヤレスルータの初期設定 (続き)

特徴		初期設定
寸法		
	サイズ :	28 x 175 x 119 mm (1.1 x 6.89 x 4.68 in.)
	重量 :	0.5 kg (1.2 lb)
動作環境		
	動作温度 :	0° ～ 40°C (32° ～ 104°F)
	動作湿度 :	最大 90%、結露しないこと
電磁放射		
	以下の規定に対応 :	FCC Part 15 Class B
		VCCI Class B
		EN 55 022 (CISPR 22)、Class B C-Tick N10947
インターフェース仕様		
	LAN:	10BASE-T または 100BASE-Tx、RJ-45
	WAN:	10BASE-T または 100BASE-Tx、RJ-45
	ワイヤレス :	最大ワイヤレス信号速度は IEEE 802.11 標準に準拠。実際の処理能力は異なります。ネットワーク状況、環境要素（ネットワークトラフィック量、建材、構造、ネットワークオーバーヘッドなど）が実際のデータ処理速度に影響します。
	ワイヤレスデータ速度 :	自動速度探知
	周波数	2.4 Ghz & 5 Ghz
	エンコーディング :	規格 IEEE 802.11n ドラフトバージョン 2.0 IEEE 802.11n、IEEE 802.11g、IEEE802.11b 2.4GHz IEEE 802.11n、IEEE 802.11a 5.0GHz
	ワイヤレスワークごとの最大コンピュータ数 :	各ノードによるワイヤレスネットワーク通信量によります。通常 30-70 ノードです。
	動作周波数範囲 (2.4G):	2.412 ～ 2.462 GHz (US) 2.412 ～ 2.472 GHz (日本) 2.412 ～ 2.472 GHz (ヨーロッパ ETSI)

表 2. ワイヤレスルータの初期設定 (続き)

特徴		初期設定
	動作周波数範囲 (5G):	5.18 〜 5.32 + 5.50 〜 5.70（日本）
	802.11 セキュリティ :	40 ビット (または 64 ビット)、128 ビット WEP WPA-PSK および WPA2-PSK

初期設定のパスワードとリセット

工場出荷時の初期設定にリセットすると、ルータのユーザー名を **admin** に戻し、パスワードを **password** に戻し、そして IP アドレスを **192.168.1.1** に戻します。

> この操作を行うと、現在の設定がすべて消去され、工場出荷時の初期設定にリセットされます。

工場出荷時の初期設定にリセットする方法

1. ペン先やペーパークリップなどの鋭利なものを使って、ルータの背面にあるリセットボタンを約 20 秒間長押しします。すると、電源ランプが点滅を始めます (5 ページの「ルータリアパネル」を参照)。
2. リセットボタンを放し、ルータが再起動して電源ランプが点滅をやめ、緑色に点灯するまで待ちます。

   工場出荷時の初期設定に戻りますので、初期設定を使って Web ブラウザからルータにアクセスできます。

ユーザ登録

製品登録、サポート、ドキュメント

お買い上げの製品を、*http://www.netgear.jp/registry/* から登録してください。電話によるサポートサービスをご利用になる前に、製品登録を行う必要があります。製品に関するアップデートと Web サポートは *http://www.netgear.jp/supportInfo/* からご利用ください。

セットアップに関する説明書は、CD、サポート Web サイト、ドキュメント Web サイトから取得できます。ワイヤレスルータがインターネットに接続されている場合は、[サポート情報] リンクをクリックしてサポート情報をご覧になるか、または [ドキュメンテーション] リンクをクリックしてこのワイヤレスルータの*リファレンス・マニュアル*を参照してください。

IEEE 標準 802.11 規格からの最大ワイヤレス信号速度

実際の処理能力は異なります。ネットワーク状況、環境要素（ネットワークトラフィック量、建材、構造、ネットワークオーバーヘッドなど）が実際のデータ処理速度に影響します。